

## 祐(たすけ)の心、祐の喜び

～ダム施工監理から村の保健婦育成まで

皆さま、新年おめでとうございます。さて、今年も何人かの同僚が開発途上国で年越しをしている。人々から求められ、そして提供できる技術があればいつでもどこでも出かけていく。ECFAに所属する約70社の開発コンサルタントは2,000名強、さほど多いとはいえない。数は少ないが、海外で仕事をするとき日本人であることを意識し、そして自分の背後に約1億人の存在を感じる。

筆者が所属する社の創業者は、祐(たすけ)の心、祐の喜びを是としていた。同僚との切磋琢磨、同業他社との切磋琢磨を通じて、より良いコンサルティング・サービスを届けていく。その中で、人々に喜ばれ、そしてそのことが自己のこの世界における存在意義を認識することとなる。人は社会的認知を求める生き物と言われる。人に喜ばれ、自らは祐の喜びを感じながら、そして多くの人々と交わり学びながら自己の成長を遂げていく。これがわれわれ開発コンサルタントの基本である。

求められるコンサルティング・サービスの領域は広い。筆者はもともと農業土木を履修したこともあり、最初の海外業務はジンバブエにおけるダムの施工監理だった。これをハード案件の代表とすればソフト案件の代表は5年ほど前に従事したケニア農村部でのHIV/AIDS専門の村の保健婦育成だろうか。あるいは、現在、エチオピアで実施している天候インデックス保険の

商品開発・普及かもしれない。

HIV/AIDS専門の村の保健婦育成に従事したとき、人の性善説は正しいと感じた。ケニアビクトリア湖畔の村々のHIV罹患率は30%を超える(2007年時点)。村々でHIV/AIDS専門の保健婦を育成したが、それなりに親しくなると、自分はHIVポジティブであると名乗り出る。すると横の保健婦も私もポジティブよ、と伝える。結果、約75%の保健婦はHIVポジティブであった。彼らの多くは自らの命がさほど長くないと知っている。であればこそ、自分がその地域社会の中に存在していた、それを人々に覚えておいてもらいたい、と思い、ボランティアの保健婦に志願したという。

天候インデックス保険は、保険を購入した農家の位置する地域での降雨が定められた量より小さい場合、保険金が支払われることになる。多くの農村部には雨量計など設置されていない。しかしながら、テクノロジーの進歩は日進月歩である。衛星を利用したARC2システムによって雲量から降雨量を推定する。そして、Webサイトを見るとアフリカ大陸ほぼ全土にわたって10km<sup>2</sup>ごとに過去30年前から直近までの日雨量を誰でも入手できる。しかも無料である。天水農業はリスクが高い。そのリスクを保険によってヘッジしようという試みである。

最初に従事した業務はダム施工監理であったが、ダムと保険、あるいはダムと保健といえ少々異質かもしれな



(株)三祐コンサルタント  
常務取締役 海外事業本部長 橋口 幸正

い。対比すれば異質に映るが、いずれであってもこれらを手段としてそこに暮らす人々の生活を豊かにする、あるいは人生をより意味あるものにしていく。高速道路や発電所といった大型の社会インフラであっても、それら大型の手段を整備して(経済的)発展が加速し、そして人々の生活が豊かになる。

われわれ開発コンサルタントは一人一人の人生をより意味あるものとし、地域社会全体が豊かになるための礎を、機会を、そして手段を提供する。もちろん個々の力は小さくどれだけできるかは判らない。しかし、開発コンサルタントはそれを目指していく。そして、どれだけそれを達成できたかは自分に反映される。人々の喜びを見るとき、翻って自らが社会の中で意義ある存在であると感じることとなる。

われわれ開発コンサルタントは多くの人々と交わる。HIV/AIDSで伏せている人、干ばつで農作物が全損となった貧農、篤農家、村長、共同で業務を進めていく先方政府職員、副大臣、大臣など。多くの交わりを通して自らが豊かにそして多様になり、また学びが生まれる。この仕事は楽しみが尽きない。学びが尽きない。そして終わりが無い。



一般社団法人 海外コンサルティング企業協会

1964年に設立され、わが国のODAを中心に海外で活躍する開発コンサルティング企業などの振興を通じ、国際協力の促進に寄与することを目的として活動しています。

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-13 虎ノ門吉荒ビル8F Tel: 03-3593-1171 Fax: 03-3593-1172

<http://www.ecfa.or.jp/>